

2021/12/21-2

(オマケの英語教室 natural gift) 書庫版



shutterstock.com · 1909799176

Bonus (ボーナス) Venus (ビーナス=美の女神) Genius (天才)

我々が欲しがるもの三つ。

最後に皆 us が着いているのを見ても「天から(我々に)授けてほしいもの」ということからそれ(us=アス=我々に)が付いている様な気がしないでもありません。

These 3 items are what we want to be given from Heaven.

とか。

しかし是は自分の完全な作り話で、実際にはギリシャだとかローマ時代に於いて何か「高貴なもの」を表す接尾辞として us (ウス) が付けられたのではないかと推測しております。

(いつもながら調べる気は全然御座いません)

ところで上述の三つの us の中で、最後に出てくる genius (天才) 達も二番目の Venus には、ホトホト手を焼いていた様です。

ギリシャ時代の哲学者ソクラテスの妻が恐妻。我が国では大文豪の夏目漱石の妻が悪妻、との風聞が伝わっております。

(無論風聞なので真偽の程は確かではありませんが)

で、原因は何かと申せば一番目に出てくる Bonus の多寡だったのかもかもしれません。

「有名、有名って、お前さん、実入りが全然伴ってないじゃないのよお、えっ、アンタ、聞こえないふりして、聞いていんの? あんっ?」

と言った具合だったのでしょいか。或いは現代の我が国のように「だんまり、むっつり」の無言責めによる神経戦だったとか。

是では胃潰瘍にもなるのも分かります。

此処で再び「ところで」ですが、この日本語で言うところの「天才」には英語で大まかに言って二通りの言い方があります。

一つは既にご紹介いたしました Genius。これは誰もが認める、換言すれば世間に通用すると言う意味での「天才」

で、今ひとつあるのが Natural gift という言い方です。

少し意識的に邦訳すれば「天が遍く各個人に与えたもった、その人固有の才」

それが Natural gift (自然な贈り物=天与の贈り物=天賦の才)

要するに何を申し上げたいのかと申せば、

前者が備わっていないと嘆くより、世間からは余りちやほやされたり、もて囃されたりする事はないかもしれませんが、遍く各個人に与えられた自分固有の才を活かし「自分なりの興味を追い掛けて楽しめるような暮らしを送ればいい」のではなかろうか？という事で御座います。

追記)

最近「説教がましい」という声を屢々耳に致しますが自分は自称「箴言作家」なので「説教がましい」のは当たり前なので御座います。

それこそ上述既述の意味で自分に付与されたそれなりの「天賦の才」なので御座います。

そしてそれを楽しんでいるだけなので、色々言われても全然とは申しませんが、思った程気にはならないので御座います。

悪しからず。

余談)

因みにこの様な態度を日本語で「開き直り」と申します。

自分流の英語ではゴルフ用語をもじって「too much wide and over open-stance mode. Hey!! Anything, come on, from anywhere attack me, please!! mode (surely less contents and backbone.)」と言い習わしております。

(ワイドでオーバーすぎるオープンスタンスモード。へい、何でも来やがれ。どこからでも掛かってきやがれ、モード(勿論中身、根拠無しで)

毎度ながら、お粗末。